

令和7年11月13日

行政政策学類刑事政策ゼミ、福島大学 BBS 会が 「ふくしまH@ねっと共生展」に参加！（11/15）

多様な人々の「共生」について、福島市内の様々な団体による物販や体験ブースを通して考える市民向けイベント「ふくしまH@ねっと（ふくしまはあとねっと）共生展」（11/15 10時～15時、福島駅東口駅前広場）に、行政政策学類刑事政策ゼミ、福島大学 BBS 会も共催団体として参加します！

ぜひ事前の来場呼びかけと当日の取材をお願いします。

【開催概要】

- ◎日時：2025年11月15日（土）10時～15時（雨天決行予定）
- ◎場所：福島駅東口駅前広場
- ◎主催：ふくしまH@ねっと
- ◎共催：福島保護観察所、福島刑務所、福島大学行政政策学類高橋ゼミ、福島学院大学大橋ゼミ、福島大学 BBS 会、NPO 法人共生社会ふくしま、一般社団法人 CARNIVAL WORKS
- ◎イベント対象者等：どなたでもご自由にご参加いただけます。
- ※チラシ別添（報道時の転載可）
- ※ウェブサイト <https://carnival-works.org/archives/2489>

ふくしまH@ねっとは、地域共生社会や更生保護を「特別なこと」とせず、地域の暮らしの中にある当たり前の取組みとして根付かせるためのネットワーク構築を目的とした、福島県北地域の司法・更生保護、保健・福祉、大学、子ども支援、就労支援等の関係者らの任意団体です。同団体の事業の一環として、行政政策学類刑事政策ゼミが2021年度より福島大学内で開催してきた「福島大学矯正展」や、各団体の地域での活動を踏まえ、福島駅前で「共生展」を開催することになりました。（詳細は上記ウェブサイトをご覧ください。）

当日は、福島大学より、刑事政策ゼミと福島大学 BBS 会が共催団体として参加します。刑事政策ゼミは、福島刑務所との合同ブースにて、福島刑務所刑務作業製品即売会、刑務所の取組みの広報、東京デフリンピック 2025 の PR 活動をおこないます。福島大学 BBS 会は、子ども支援の活動等を通して交流のある福島市内の大内農園の梨販売をおこないます。（刑事政策ゼミと福島刑務所の合同ブースは、福島大学地域未来デザインセンターと福島刑務所の包括連携協定に基づく取組みの一環として開催します。）

福島大学以外からは、福島保護観察所、保護猫ネットワーク等による啓発活動、

福島県立医大作業療法学科による活動紹介とボッチャ体験、就労支援 B 型事業所や子ども・若者支援の組織・団体による製品販売や子どもの遊び場などの企画が予定されています。また、当日の運営やチラシ作成には、子ども支援や更生保護に関心のある福島大学、福島学院大学、福島県立医大の学生が協力しています。

いずれの企画も事前予約不要でどなたでもご参加でき、年齢や属性を問わず多くの方が、楽しみながら、多様な人を取り残さない地域共生社会の実現に関心を持つきっかけとなれば幸いです。ぜひ当日の取材と併せて、事前の来場呼びかけをお願いいたします。

(お問い合わせ先)

行政政策学類・准教授 高橋 有紀

電 話：090-5033-9296

メール：y-takahashi@ads.fukushima-u.ac.jp

ふくしまH@ (はあと) ネット共生展

2025 11.15 土 10:00~15:00

in 福島駅東口駅前広場

刑務所作業製品
の展示即売

各種体験ブース

福祉作業所
製品販売



主催： ふくしまH@ (はあと) ネット

共催： 福島保護観察所・福島刑務所・福島大学行政政策学類高橋ゼミ・福島学院
大学大橋ゼミ・福島大学BBS会・NPO法人共生社会ふくしま・一般社団
法人CARNIVAL WORKS